博士課程前期2年の課程(必修科目及び自由聴講科目) 博士課程後期3年の課程

医療薬学専攻博士課程 (薬学履修課程)

シラバス

授業科目	名	分子薬科学特論 I		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年 MC1年			
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	分子薬科学全般について基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。					
到達目標	分子薬化学全般に関する様々な事象について、分子的基盤や原理をもとに説明できるよう になる。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	Т (
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	分子薬科学特論Ⅱ		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年 MC2年			
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	分子薬科学全般について基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。					
到達目標	分子薬化学全般に関する様々な事象について、分子的基盤や原理をもとに説明できるよう になる。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	T ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	分子イメージング特論		科目区分	自由聴講
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	ド一覧参照 配当学年 MC1・2年		
担当教員	薬学研	究科教員	単位数	4	単位
授業概要		イメージングに関する最新の研究の進展につ の方向性を理解することを目的とする。	ついて学び、 今	後の方向性な	や創薬への応
到達目標	分子イメージングに関して分子基盤から理解し説明できるようになる。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	ц ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	分子薬科学セミナー I		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	配当学年 MC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数 3 単位			
授業概要	分子薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				面する。	
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	分子薬科学セミナーⅡ		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年 MC2年			
担当教員	所属分	所属分野指導教員 単位数 3 単位			単位	
授業概要	分子	分子薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	課題研究		科目区分	必修
科目ナンバリ	ーング	コード一覧参照 配当学年 MC2年			2年
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	10	単位
授業概要	薬科	薬科学に関する高度な知識をもとに、主体的に課題を発見し、研究を行う。			
到達目標	当該領域を先導する研究を実施し、その成果を発表する。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	プレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	海外研修		科目区分	自由聴講	
科目ナンバリ	ボリング コード一覧参照 配当学年 MC1・2年			・2年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	2	単位	
授業概要	1週間~3ヶ月程度、海外の大学、研修機関、公共機関等で薬科学に関する実地研修を行う。				実地研修を行	
到達目標	本研修を通じて、国際的な環境の下で研究を行い、国際共同研究の進め方、研究内容を社 会で実践する方法を習得すると共に体験、理解する。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	ц ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	生命薬科学特論 I		科目区分 必修	
科目ナンバリ	ング コード一覧参照 配当学年 MC1年			21年	
担当教員	所属分野指導教員 単位数 4 単位			単位	
授業概要	生命	生命薬科学全般に関する基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。			
到達目標	生命 になる	薬化学全般に関する様々な事象について、5 。	分子的基盤や原理	をもとに説見	明できるよう
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	プレイ・e-learr	iing・その他	Г (
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	生命薬科学特論Ⅱ		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング コード一覧参照 配当学年 MC2年			2年		
担当教員	所属分野指導教員 単位数 4 単位			単位		
授業概要	生命薬科学全般に関する基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。					
到達目標	生命薬化学全般に関する様々な事象について、分子的基盤や原理をもとに説明できるようになる。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	プレイ・e-learr	ning・その他	Т (
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	生命薬科学セミナーI		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年 MC1年			
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	3	単位	
授業概要	生命薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				面する。	
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	生命薬科学セミナーⅡ		科目区分	必修
科目ナンバリ	リング	グ コード一覧参照 配当学年 MC2年			2年
担当教員	所属分野指導教員 単位数 3 単位			単位	
授業概要	生命	生命薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	医薬製造化学特別演習 I	別演習 I		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	己当学年 DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	医薬製造化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				評価する。	
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	医薬製造化学特別演習 II	科目区分選択必修		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位		
授業概要	医薬	医薬製造化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	分子設計化学特別演習 I	科目区分選択必何			
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	F DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	数 4 単位		
授業概要	分子	分子設計化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	分子設計化学特別演習Ⅱ 科目区分 選択			選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	配当学年 DC2年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	位位数 4 単位		
授業概要	分子	分子設計化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	合成制御化学特別演習 I	合成制御化学特別演習 I 科目区分 選択項			
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	之年 DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位		
授業概要	合成	合成制御化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	Ţ ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	合成制御化学特別演習Ⅱ	科目区分 選択必何		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	合成	合成制御化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	名	反応制御化学特別演習 I	科目区分選択必何			
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位		
授業概要	反応	反応制御化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	Ţ ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	名	反応制御化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	反応	反応制御化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	名	分子変換化学特別演習 I	分子変換化学特別演習 I 科目区分 選択必			
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	年 DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	数 4 単位		
授業概要	分子	分子変換化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	Ţ ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	分子変換化学特別演習Ⅱ	科目区分選択必			
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位		
授業概要	分子	分子変換化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	医薬資源化学特別演習 I	科目区分選択必			
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位		
授業概要	医薬	医薬資源化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	Ţ ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	医薬資源化学特別演習 II		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位		
授業概要	医薬	医薬資源化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	界面物性化学特別演習 I	面物性化学特別演習 I 科目区分 選択必			
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	学年 DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	女 4 単位		
授業概要	界面	界面物性化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	目名 界面物性化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC	22年
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	界面	物性化学の領域で実施される研究ならびに関	関連の論文を調査	解析し、	評価する。
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。				
その他					

授業科目	科目名 生物構造化学特別演習 I		科目区分	選択必修		
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC	71年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	生物	構造化学の領域で実施される研究ならびに関	関連の論文を調査	• 解析し、	評価する。	
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	目名 生物構造化学特別演習 Ⅱ		科目区分	選択必修		
科目ナンバリ	ンバリング コード一覧参照 配当学年 DC		DC	22年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	生物	構造化学の領域で実施される研究ならびに関	関連の論文を調査	解析し、	評価する。	
到達目標	当該 つける	領域を先導する研究者としての高度な知識と 。	こともに、課題発	見能力と解え	央能力を身に	
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	目名 分子動態解析学特別演習 I		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	ンバリング コード一覧参照 配当学年 DC 1		71年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	分子動態解析学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				評価する。
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。				
その他					

授業科目	目名 分子動態解析学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC	22年
担当教員	所属分野指導教員 単位数 4 単位			単位	
授業概要	分子	動態解析学の領域で実施される研究ならびに	二関連の論文を調	査・解析し、	評価する。
到達目標	当該 つける	領域を先導する研究者としての高度な知識と	こともに、課題発	見能力と解え	央能力を身に
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。				
その他					

授業科目	名	分子イメージング薬学特別演習 I		科目区分	選択必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	当学年 DC1年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	分子イメージング薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				解析し、評価
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	Ţ ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。				
その他					

授業科目	授業科目名 分子イメージング薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修		
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC	22年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	分子 する。	分子イメージング薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	Ţ ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	授業科目名 分子薬科学特別演習 I		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	目ナンバリング コード一覧参照 配当学年 DC		DC	71年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	分子	薬科学の領域で実施される研究ならびに関連	車の論文を調査・	解析し、評値	面する。
到達目標	当該 つける	領域を先導する研究者としての高度な知識と 。	こともに、課題発	見能力と解え	失能力を身に
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	目名 分子薬科学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修		
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	分子薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				画する。	
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	授業科目名 分子薬科学特別研究		科目区分	必修		
科目ナンバリ	ーング	コード一覧参照	配当学年	DC	3年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	20 単位		
授業概要	分子	分子薬科学に関する高度な知識をもとに、主体的に課題を発見し、研究を行う。				
到達目標	当該領域を先導する研究を実施し、その成果を発表する。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	プレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	授業科目名 海外特別研修		科目区分	自由聴講	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC1・2・3年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	2	単位
授業概要	1週間~3ヶ月程度、海外の大学、研修機関、公共機関等で薬科学に関する実地研修を行う。				実地研修を行
到達目標	本研修を通じて、国際的な環境の下で研究を行い、国際共同研究の進め方、研究内容を社 会で実践する方法を習得すると共に体験、理解する。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	ц ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。				
その他					

授業科目	名	薬理学特別演習 I		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	薬理	薬理学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				央能力を身に	
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	名	薬理学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	薬理	薬理学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				央能力を身に	
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	臨床分析化学特別演習 I	科目区分 選択必何		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	臨床	臨床分析化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	臨床分析化学特別演習Ⅱ	科目区分 選択必何		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	臨床	臨床分析化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	名	分子細胞生化学特別演習 I	科目区分選択必			
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位		
授業概要	分子	分子細胞生化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	名	分子細胞生化学特別演習Ⅱ	科目区分選択必		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	分子	分子細胞生化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				央能力を身に	
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	薬物送達学特別演習 I	科目区分選択必		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位		
授業概要	薬物	薬物送達学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	名	薬物送達学特別演習Ⅱ	科目区分選択必		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	薬物	薬物送達学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	名	衛生化学特別演習 I	科目区分選択必			
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位		
授業概要	衛生	衛生化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	名	衛生化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	衛生	衛生化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				失能力を身に	
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	代謝制御薬学特別演習 I	科目区分 選択必		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	代謝	代謝制御薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	代謝制御薬学特別演習Ⅱ 科目区分 選			選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	配当学年 DC2年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位		
授業概要	代謝	代謝制御薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	ンプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	遺伝子制御薬学特別演習 I	科目区分選択		選択必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	遺伝子制御薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				評価する。
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				失能力を身に
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。				
その他					

授業科目	名	遺伝子制御薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	B当学年 DC2年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4 単位		
授業概要	遺伝	遺伝子制御薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	ンプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	生命機能解析学特別演習 I		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	配当学年 DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	生命	生命機能解析学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	Ţ ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	生命機能解析学特別演習Ⅱ	科目区分 選択必		選択必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	生命機能解析学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				評価する。
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				失能力を身に
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	生命薬科学特別演習 I		科目区分選択必	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC1年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	生命薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				面する。
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				失能力を身に
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	生命薬科学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	生命	生命薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			西する。
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				央能力を身に
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロール	プレイ・e-learn	iing・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	生命薬科学特別研究	科目区分 必修		必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC3年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	20	単位
授業概要	当該	当該領域を先導する研究を実施し、その成果を発表する。			
到達目標	当該	当該領域を先導する研究を実施し、その成果を発表する。			
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	プレイ・e-learn	ning・その他	ц ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	臨床薬学特別演習 I		科目区分	選択必修
科目ナンバリ	ーング	コード一覧参照	配当学年	DC1年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	臨床	臨床薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	臨床	臨床薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	プレイ・e-learr	ning・その他	Ţ ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。				
その他					

授業科目	名	臨床薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	臨床	臨床薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	臨床薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。				する。
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	がん化学療法薬学特別演習 I	生薬学特別演習 I 科目		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	配当学年 DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	がん	がん化学療法薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する				
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	がん化学療法薬学特別演習Ⅱ	科目区		選択必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	がん化学療法薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する				、評価する。
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				央能力を身に
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	生活習慣病治療薬学特別演習 I	療薬学特別演習 I 科目		選択必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	生活る。	生活習慣病治療薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価でる。			近、評価す
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	Ţ ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	生活習慣病治療薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	ング コード一覧参照 配当学年 DC2年			22年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	生活る。	習慣病治療薬学の領域で実施される研究など	がに関連の論文	を調査・解析	折し、評価す	
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	病態分子薬学特別演習 I	演習 I		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	出当学年 DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	病態	分子薬学の領域で実施される研究ならびに関	関連の論文を調査	解析し、	評価する。	
到達目標	当該 つける	領域を先導する研究者としての高度な知識と 。	こともに、課題発	見能力と解え	央能力を身に	
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	病態分子薬学特別演習Ⅱ	川演習Ⅱ		選択必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年 DC2年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	病態	分子薬学の領域で実施される研究ならびに関	関連の論文を調査	解析し、	評価する。
到達目標	当該 つける	領域を先導する研究者としての高度な知識と	こともに、課題発	見能力と解え	失能力を身に
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	医薬品評価学特別演習 I	引演習 I		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	年 DC 1 年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	医薬	品評価学の領域で実施される研究ならびに関	関連の論文を調査	解析し、	評価する。	
到達目標	当該 つける	領域を先導する研究者としての高度な知識と 。	こともに、課題発	見能力と解え	央能力を身に	
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	医薬品評価学特別演習 II	演習Ⅱ		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	6学年 DC2年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	医薬	品評価学の領域で実施される研究ならびに関	関連の論文を調査	解析し、	評価する。	
到達目標	当該 つける	領域を先導する研究者としての高度な知識と 。	こともに、課題発	見能力と解え	央能力を身に	
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	社会薬学マネジメント特別演習 I	マント特別演習 I		選択必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年 DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	社会	薬学の領域で実施される研究ならびに関連の)論文を調査・解	析し、評価で	する。
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				央能力を身に
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	社会薬学マネジメント特別演習Ⅱ	×ント特別演習Ⅱ		選択必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年 DC2年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	社会	薬学の領域で実施される研究ならびに関連の)論文を調査・解	析し、評価	する。
到達目標	当該 つける	領域を先導する研究者としての高度な知識と 。	こともに、課題発	見能力と解え	央能力を身に
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	医療薬学特別演習 I	習 I		選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	配当学年 DC1年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位	
授業概要	医療	薬学に関する研究ならびに関連の論文を詳網	田に解析し、評価	する。		
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	医療薬学特別演習Ⅱ	習Ⅱ		選択必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年 DC2年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	4	単位
授業概要	医療	薬学に関する研究ならびに関連の論文を詳網	田に解析し、評価	する。	
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	医療薬学特別研究	引研究		必修
科目ナンバリ	ドリング コード一覧参照 配当学年 DC4年			24年	
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	20	単位
授業概要	医療	薬学に関する高度な知識をもとに、主体的に	二課題を発見し、	研究を行う。	
到達目標	当該	領域を先導する研究を実施し、その成果を発	巻表する。		
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	プレイ・e-learr	ning・その他	ī ()
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	臨床腫瘍学特別講義 I		科目区分	必修
科目ナンバリ	ーング	コード一覧参照	覧参照 配当学年 DC1年		
担当教員	薬学研	· · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	単位数	2	単位
授業概要	がん	薬物療法に関する基本的な知識を習得する。			
到達目標	多様る。	な腫瘍性疾患の病態、治療選択、治療モニタ	アリング、評価に	関する知識の	の理解を深め
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロール	プレイ・e-learr	ning・その他	ц ()
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	臨床腫瘍学特別講義Ⅱ		科目区分	必修
科目ナンバリ	リング コード一覧参照 配当学年 DC1年			1年	
担当教員	薬学研	究科教員	単位数	2	単位
授業概要	がん	がん薬物療法に関する基本的な知識を習得する。			
到達目標	多様 る。	な腫瘍性疾患の病態、治療選択、治療モニタ	フリング、評価に	関する知識の	の理解を深め
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	プレイ・e-learr	ning・その他	Ţ ()
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	臨床腫瘍学特別講義Ⅲ		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年 DC1年			
担当教員	薬学研	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	単位数	4 単位		
授業概要	がん	がん薬物療法に関する基本的な知識を習得する。				
到達目標	多様な腫瘍性疾患の病態、治療選択、治療モニタリング、評価に関する知識の理解を深め る。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	薬学研					
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	がん薬物療法学演習		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	薬学研	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	単位数	4	単位	
授業概要	がん薬物療法に関する基本的な知識・態度を習得する。					
到達目標	腫瘍性疾患の模擬症例を用いて、病態解析、治療計画、治療評価に関する理解を深める。				解を深める。	
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	ンプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	がん専門薬剤師実習		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	配当学年 DC3年		
担当教員	薬学研	究科教員	単位数	5	単位	
授業概要	がん薬物療法に関する基本的な知識・態度・技能を習得する。					
到達目標	腫瘍める。	腫瘍性疾患の症例解析を通じて、病態解析、治療計画、治療評価に関する理解と技能を深める。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	医療薬学課題研究 DC		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	当学年 DC4年		
担当教員	所属分	野指導教員	単位数	単位数 10 単位		
授業概要	それ	それぞれの研究室において、課題を発見し、研究を行う。				
到達目標	最先端の研究を推進する能力と当該分野をリードする技術を身につける。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	配属さ	れた分野の教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	スーパージェネラリスト・ファーマシスト養成セミナー		科目区分	必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	参照 配当学年 DC1年		
担当教員	薬学研	究科教員	単位数	1 単位	
授業概要	医療薬学を先導する研究者、薬剤師の講演を聞き、最先端の知識、考え方を学ぶ。				. 泛美
到達目標	先導的薬剤師として必要な最先端の知識を得る。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	プレイ・e-learr	ning・その他	. ()
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	ゲノム解析学演習		科目区分	必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年 DC1年		
担当教員	薬学研	究科教員	単位数	2	単位
授業概要	医薬品の薬物動態、効果、あるいは副作用発現の個人差には、薬物代謝酵素やトランスーターなどの遺伝子多型が影響する場合があり、患者個々に最適な薬物療法を提供するたのファーマコゲノミクス (PGx) 解析研究が注目されている。本演習では、PGx に関する最の研究成果、さらに PGx 情報がどのように医療に応用されているかを理解する。			是供するため こ関する最新	
到達目標	ヒトの遺伝的多様性とその意味を説明できるとともに、ゲノム解析に基づく個別化医療の 現状と問題点を理解する。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロール	レプレイ・e-learn	iing・その他	L ()
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	メタボローム解析演習		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年 DC1年			
担当教員	薬学研	究科教員	単位数	2 単位		
授業概要	メタ	メタボローム解析の原理、方法、応用性に関する基礎的知識・態度を習得する。				
到達目標	医療薬学領域におけるメタボローム解析に基づく患者層別化の現状と問題点を理解する。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	レプレイ・e-learr	iing・その他	Ţ ()	
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	病態解析学演習		科目区分	必修
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年	
担当教員	薬学研	究科教員	単位数	2	単位
授業概要		臨床薬学の領域で実施される主に心血管疾患の病態・治療、また、それらの領域の研究 らびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			領域の研究な
到達目標		当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	ンプレイ・e-learr	ning・その他	1 ()
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。			
使用言語	別途、	指導教員から指示する。			
その他					

授業科目	名	ゲノム解析実習 I		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC1年		
担当教員	薬学研	究科教員	単位数	2 単位		
授業概要	先進医療においては、ゲノム情報に基づき、患者個々に最適な薬物療法を提供することが望まれている。今後は、ゲノム解析結果をもとに一元的に判断するのではなく、ゲノム解析の方法、精度等を十分理解し、得られたデータを解釈し、医療に適切に応用する力の育成が必要である。本実習では、ゲノム解析の基本的な方法と原理を学ぶとともに、データ解析の方法と意味を理解する。				く、ゲノム解する力の育成	
到達目標	ゲノ	ゲノム解析の基本的手技ならびにデータ解析方法を習得する。				
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロール	プレイ・e-learr	iing・その他	ц ()	
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	ゲノム解析実習Ⅱ		科目区分	選択必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC2年		
担当教員	薬学研	究科教員	単位数	2 単位		
授業概要	先進医療においては、ゲノム情報に基づき、患者個々に最適な薬物療法を提供することが望まれている。今後は、ゲノム解析結果をもとに一元的に判断するのではなく、ゲノム解析の方法、精度等を十分理解し、得られたデータを解釈し、医療に適切に応用する力の育成が必要である。本実習では、ゲノム解析の最先端の方法と原理を学ぶとともに、適したデータ解析の方法を理解する。					
到達目標	ゲノ	ム解析のせい先端の手技ならびにデータ解析	f方法を習得する	0		
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	プレイ・e-learr	iing・その他	ц ()	
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	別途、指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目	名	メタボローム解析実習 I		科目区分	必修	
科目ナンバリ	リング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年		
担当教員	薬学研	究科教員	単位数	2 単位		
授業概要	メタボローム解析の原理、方法、応用性に関する基礎的知識・技能を習得する。				5.	
到達目標	メタボローム解析の基本的手技ならびにデータ解析方法を習得する。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ローバ	プレイ・e-learr	ning・その他	ī ()	
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、指導教員から指示する。					
その他						

授業科目	名	メタボローム解析実習Ⅱ	科目区分選択必修		選択必修	
科目ナンバリ	ーング	コード一覧参照	配当学年	DC 2 年		
担当教員	薬学研	究科教員	単位数	2 単位		
授業概要	メタボローム解析の原理、方法、応用性に関する基礎的知識・技能を習得する。				5.	
到達目標	メタボローム解析の基本的手技ならびにデータ解析方法を習得する。					
授業方法	講義・	演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロール	プレイ・e-learr	iing・その他	Ţ ()	
成績評価法	薬学研	究科教員が行う。				
教科書・参考書	別途、	指導教員から指示する。				
授業時間外学習	別途、	指導教員から指示する。				
使用言語	別途、	別途、指導教員から指示する。				
その他						

授業科目名		ローテーション実習 I		科目区分	必修			
科目ナンバリング		コード一覧参照	配当学年	DC1年				
担当教員	薬学研究科教員 単位数 2 単位			単位				
授業概要	各専門分野の実務・研究を体験し、医療薬学の現状と問題点を理解し、解決策を提案でき る資質を習得する。							
到達目標	医療薬学を実践する薬剤師の資質、態度、技能について習得する。							
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他()							
成績評価法	薬学研究科教員が行う。							
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。							
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。							
使用言語	別途、指導教員から指示する。							
その他								

授業科目名		ローテーション実習Ⅱ		科目区分	選択必修			
科目ナンバリング		コード一覧参照	配当学年	DC 2年				
担当教員	薬学研究科教員 単位数 2 単		単位					
授業概要	各専門分野の実務・研究を体験し、医療薬学の現状と問題点を理解し、解決策を提案できる資質を習得する。							
到達目標	医療薬学を実践する薬剤師の資質、態度、技能について習得する。							
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他()							
成績評価法	薬学研究科教員が行う。							
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。							
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。							
使用言語	別途、指導教員から指示する。							
その他								